

第3章 計画の達成状況と課題

3-1 前回からの比較

本計画の改定に当たり、緑地や市民の意向について前回策定時と今回改定時の比較を行いました。

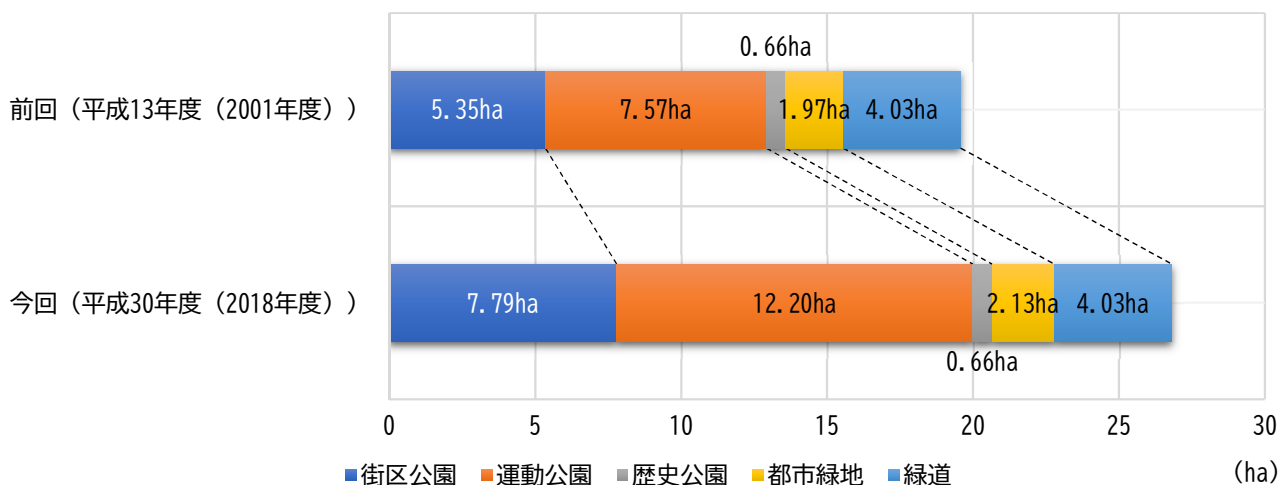
(1) 緑地の比較

① 施設緑地

ア 都市公園

本市の都市公園の増減をみると、街区公園の整備と運動公園の整備を推進した結果、全体で7.23haの増加となりました。

	今回（平成30年度（2018年度））		前回（平成13年度（2001年度））		増減	
	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）
街区公園	35	7.79	24	5.35	11	2.44
運動公園	1	12.20	1	7.57	0	4.63
歴史公園	1	0.66	1	0.66	0	0.00
都市緑地	6	2.13	5	1.97	1	0.16
緑道	2	4.03	2	4.03	0	0.00
計	45	26.81	33	19.58	12	7.23



前回策定時以降に新設された街区公園

公園名	所在地
栄二丁目ふれあい公園	栄二丁目9番地先
新堀二丁目ふれあい公園	新堀二丁目3番地先
西堀一丁目ふれあい公園	西堀一丁目9番地先
野火止上北ふれあい公園	野火止五丁目33-9番地先
野火止六丁目ふれあい公園	野火止六丁目4番地先
野火止ふるさと広場	野火止六丁目1-48番地先
野火止ふれあい広場	野火止七丁目7番地先
野火止七丁目公園	野火止七丁目9番地先
野火止七丁目ふれあい公園	野火止七丁目2番地先
野火止用水公園	野火止七丁目4番地先
畑中黒目川公園	畑中二丁目17-19番地先

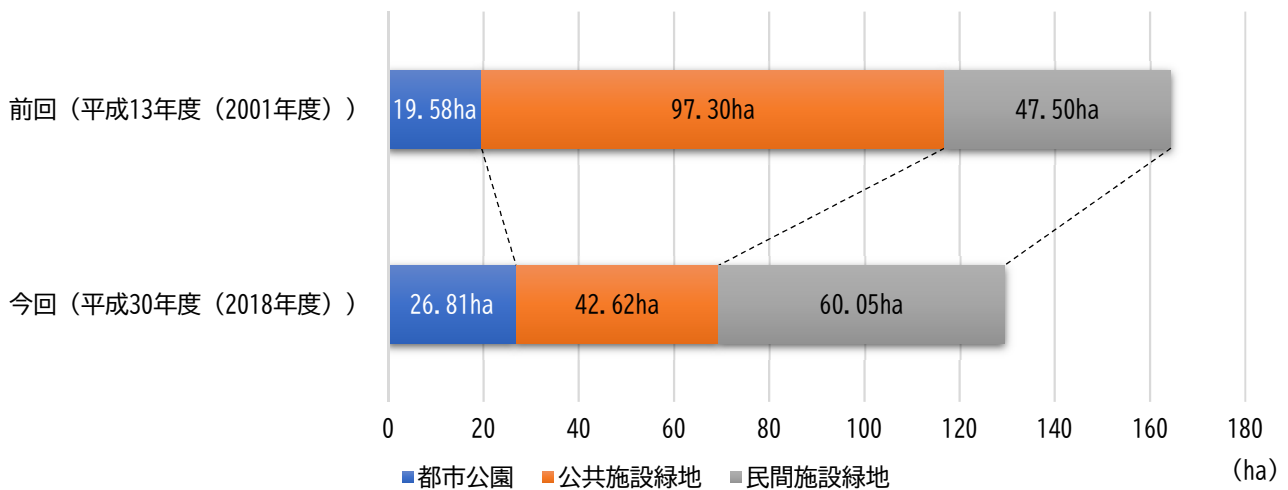


イ 施設緑地全体

施設緑地全体で比較すると、増加分は都市公園の 7.23ha 及び民間施設緑地の 12.55ha、減少分は公共施設緑地の 54.68ha で、合計 34.90ha の減少となっています。

なお、公共施設緑地が大幅に減少しているのは、前計画で公立学校の敷地面積を計上していたところ、今般の改定ではグラウンド面積の計上としたためです。また、前計画の公共施設緑地のか所数は準公園 65 か所、都市公園に含まれない児童遊園 36 か所を除いていたため、76 か所となっています。

	今回（平成30年度（2018年度））		前回（平成13年度（2001年度））		増減	
	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）
都市公園	45	26.81	33	19.58	12	7.23
公共施設緑地	212	42.62	76	97.30	136	-54.68
民間施設緑地	25	60.05	26	47.50	-1	12.55
計	282	129.48	135	164.38	147	-34.90



前回の面積を、今回と同様の方法で集計した場合、下表のとおりとなっています。

【施設緑地面積】

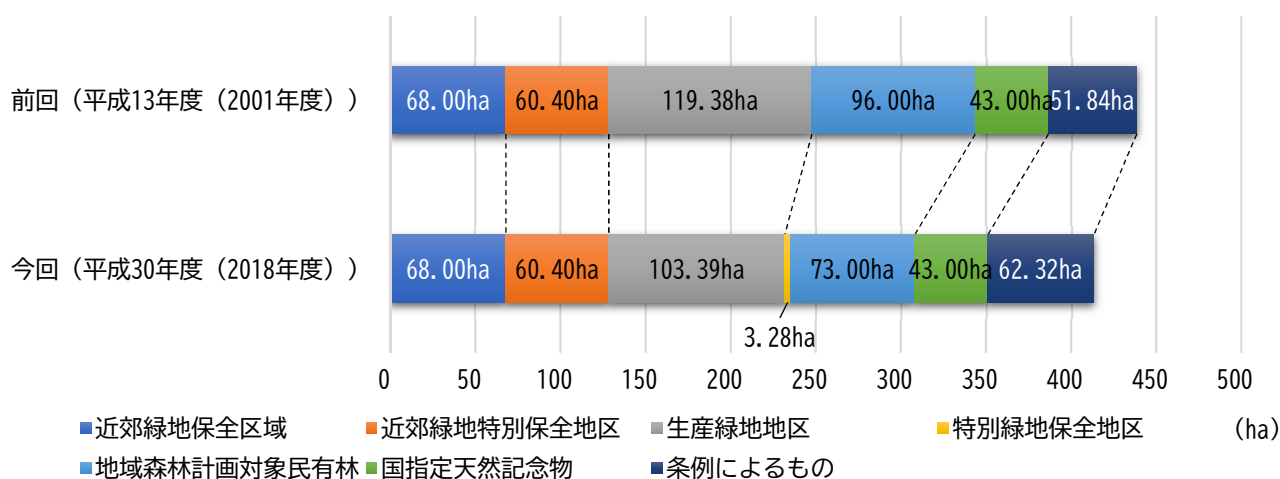
	今回（平成 30（2018）年度）	前回（平成 13（2001）年度）	増減
都市公園	26.81	19.58	7.23
公共施設緑地	42.62	43.65	-1.03
民間施設緑地	60.05	59.09	0.96
計	129.48	122.32	7.16

② 地域制緑地

地域制緑地の比較では、凍結的な保全が行われている近郊緑地保全区域と近郊緑地特別保全地区、国指定天然記念物に変化はありませんでしたが、生産緑地地区では15.99ha、地域森林計画対象民有林でも23.00haの減少となりました。

その一方で、条例によるものでは10.48haの増加となりましたが、全体では、43.29haの減少となりました。

	今回（平成30年度（2018年度））		前回（平成13年度（2001年度））		増減	
	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）
近郊緑地保全区域	1	68.00	1	68.00	0	0.00
近郊緑地特別保全地区	1	60.40	1	60.40	0	0.00
生産緑地地区	271	103.39	267	119.38	4	-15.99
特別緑地保全地区	1	3.28			1	3.28
地域森林計画対象民有林		73.00		96.00		-23.00
国指定天然記念物	1	43.00	1	43.00	0	0.00
法によるもの 計	275	351.07	270	386.78	5	-35.71
条例によるもの	30	62.32	24	51.84	6	10.48
小計	305	413.39	294	438.62	11	-25.23
地域制緑地間の重複		228.29		210.23		
合計		185.10		228.39		-43.29



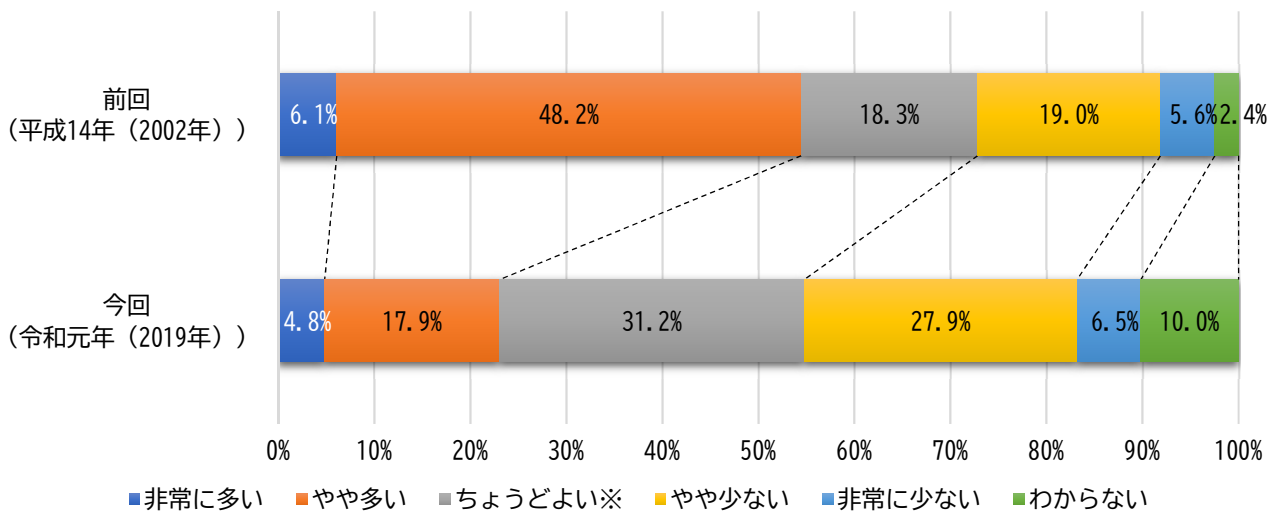
(2) 市民意向の比較

① みどりの量に対する印象

本市のみどりの量の印象にお尋ねしたところ、「非常に多い」と回答した方は 1.3 ポイントの減少、「やや多い」と回答した方は 30.3 ポイントの減少であり、多いと回答した方の割合（「非常に多い」と「やや多い」の合計）は、31.6 ポイントの減少となりました。また、少ないと回答した方の割合（「やや少ない」と「非常に少ない」の合計）は 9.8 ポイントの増加となりました。

選択肢	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に多い	4.8%	6.1%	-1.3ポイント	-31.6ポイント
やや多い	17.9%	48.2%	-30.3ポイント	
ちょうどよい※	31.2%	18.3%	+12.9ポイント	
やや少ない	27.9%	19.0%	+8.9ポイント	+9.8ポイント
非常に少ない	6.5%	5.6%	+0.9ポイント	
わからない	10.0%	2.4%	+7.6ポイント	

※ 前回の選択肢では、「どちらともいえない」となっています。



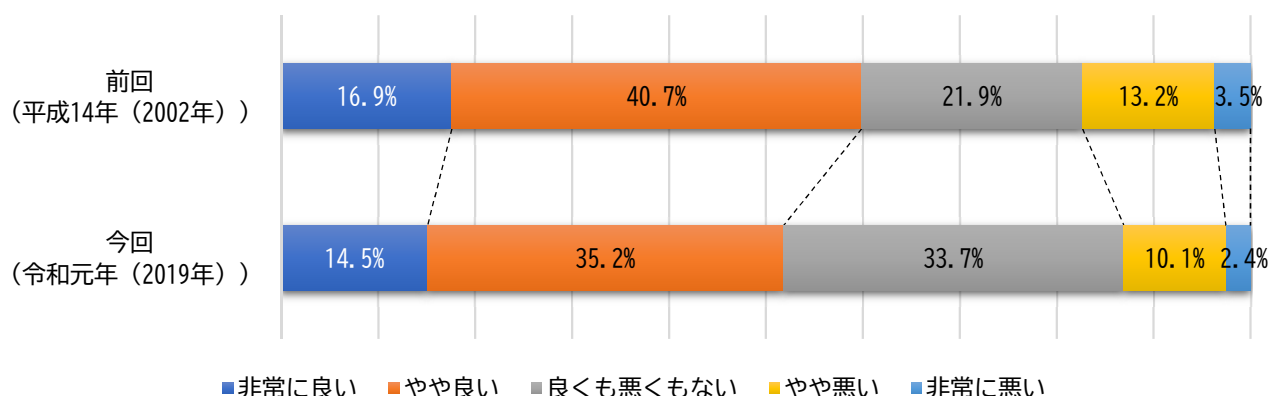
② 場所ごとに見たみどりの印象の比較

ア 雑木林の印象

良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は7.9ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）も4.2ポイントの減少となっています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	14.5%	16.9%	-2.4ポイント	-7.9ポイント
やや良い(まあまあよい)	35.2%	40.7%	-5.5ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	33.7%	21.9%	+11.8ポイント	
やや悪い(やや悪い)	10.1%	13.2%	-3.1ポイント	-4.2ポイント
非常に悪い(悪い)	2.4%	3.5%	-1.1ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

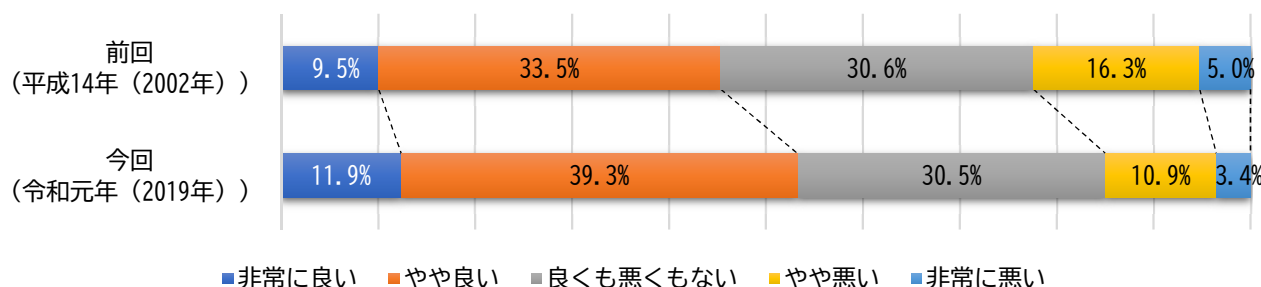


イ 水辺のみどりの印象

水辺のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は8.2ポイントの増加となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は7.0ポイントの減少となり、全体として良い印象が増加しています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	11.9%	9.5%	+2.4ポイント	+8.2ポイント
やや良い(まあまあよい)	39.3%	33.5%	+5.8ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	30.5%	30.6%	-0.1ポイント	
やや悪い(やや悪い)	10.9%	16.3%	-5.4ポイント	-7.0ポイント
非常に悪い(悪い)	3.4%	5.0%	-1.6ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

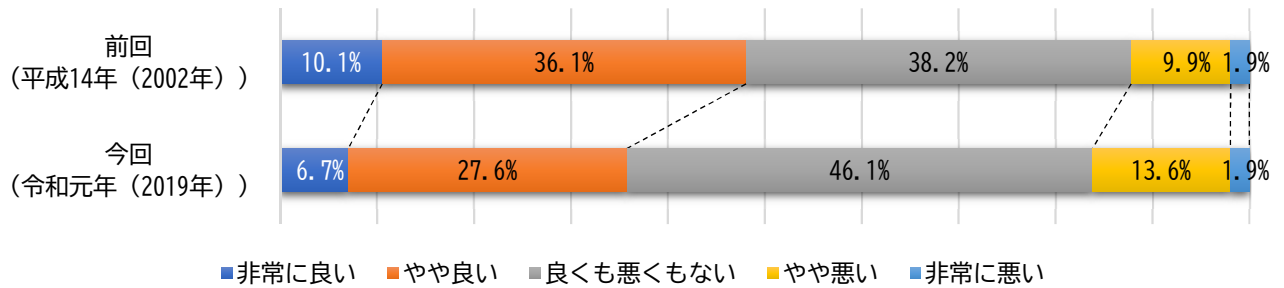


ウ 畑や果樹園などの農地のみどりの印象

畑や果樹園などの農地のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は11.9ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は3.7ポイントの増加となり、全体的に悪い印象が増加しています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	6.7%	10.1%	-3.4ポイント	-11.9ポイント
やや良い(まあまあよい)	27.6%	36.1%	-8.5ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	46.1%	38.2%	+7.9ポイント	
やや悪い(やや悪い)	13.6%	9.9%	+3.7ポイント	+3.7ポイント
非常に悪い(悪い)	1.9%	1.9%	0.0ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

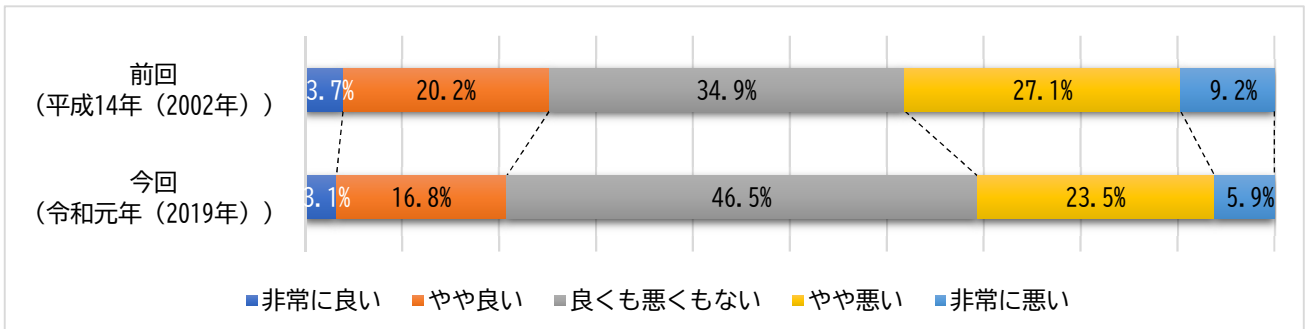


エ 市街地のみどりの印象

市街地のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は4.0ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）も6.9ポイントの減少となりました。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	3.1%	3.7%	-0.6ポイント	-4.0ポイント
やや良い(まあまあよい)	16.8%	20.2%	-3.4ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	46.5%	34.9%	+11.6ポイント	
やや悪い(やや悪い)	23.5%	27.1%	-3.6ポイント	-6.9ポイント
非常に悪い(悪い)	5.9%	9.2%	-3.3ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

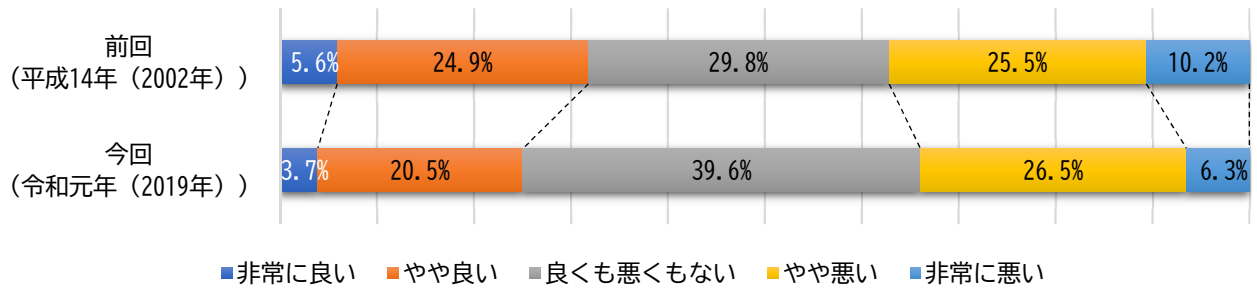


オ 道路沿い（街路樹）のみどりの印象

道路沿い（街路樹）のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は6.3ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）も2.9ポイントの減少となりました。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	3.7%	5.6%	-1.9ポイント	-6.3ポイント
やや良い(まあまあよい)	20.5%	24.9%	-4.4ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	39.6%	29.8%	+9.8ポイント	
やや悪い(やや悪い)	26.5%	25.5%	+1.0ポイント	-2.9ポイント
非常に悪い(悪い)	6.3%	10.2%	-3.9ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

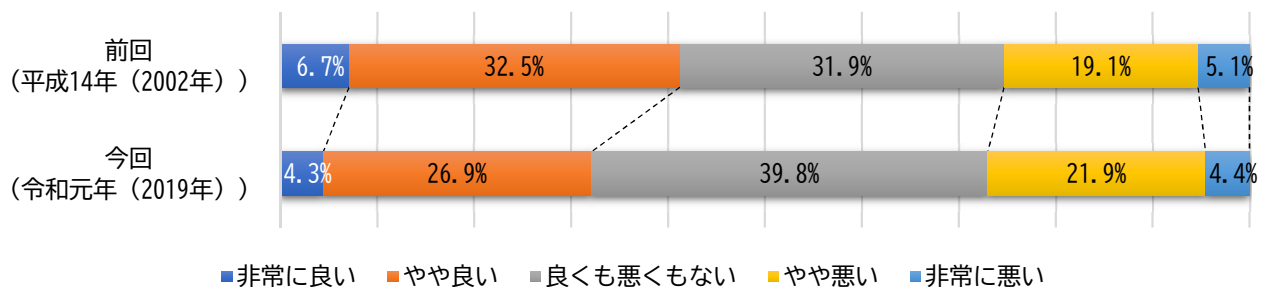


カ 公園や広場のみどりの印象

公園や広場のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は8.0ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は2.1ポイントの増加となり、全体的に悪い印象が増加しています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	4.3%	6.7%	-2.4ポイント	-8.0ポイント
やや良い(まあまあよい)	26.9%	32.5%	-5.6ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	39.8%	31.9%	+7.9ポイント	
やや悪い(やや悪い)	21.9%	19.1%	+2.8ポイント	+2.1ポイント
非常に悪い(悪い)	4.4%	5.1%	-0.7ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

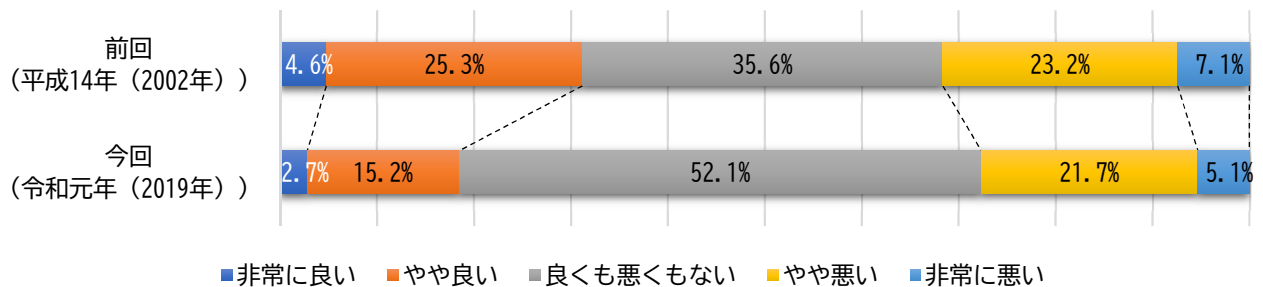


キ 住宅の庭のみどりの印象

住宅の庭のみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は 12.0ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は 3.5ポイントの減少となりました。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	2.7%	4.6%	-1.9ポイント	-12.0ポイント
やや良い(まあまあよい)	15.2%	25.3%	-10.1ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	52.1%	35.6%	+16.5ポイント	
やや悪い(やや悪い)	21.7%	23.2%	-1.5ポイント	-3.5ポイント
非常に悪い(悪い)	5.1%	7.1%	-2.0ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

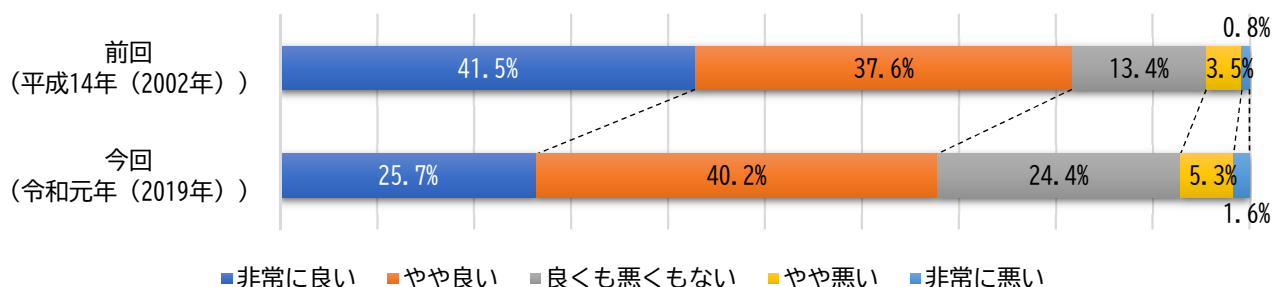


ク 社寺等の歴史的なみどりの印象

本市を代表するみどりである社寺等の歴史的なみどりの印象の変化は、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は 13.2ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は 2.6ポイントの増加となり、全体的に悪い印象が増加しています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	25.7%	41.5%	-15.8ポイント	-13.2ポイント
やや良い(まあまあよい)	40.2%	37.6%	+2.6ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	24.4%	13.4%	+11.0ポイント	
やや悪い(やや悪い)	5.3%	3.5%	+1.8ポイント	+2.6ポイント
非常に悪い(悪い)	1.6%	0.8%	+0.8ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です

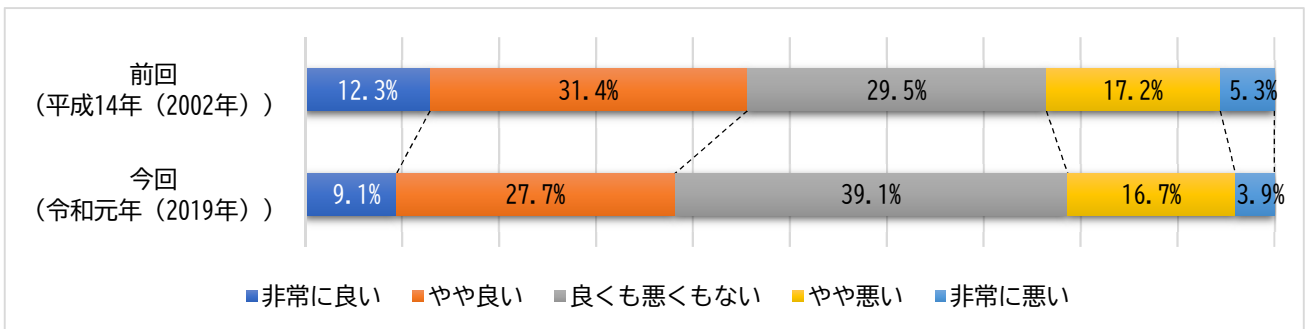


ケ 場所ごとに見たみどりの印象の集計

場所ごとに見たみどりの印象を集計すると、良いと回答した方の割合（「非常に良い」と「やや良い」の合計）は6.9ポイントの減少となりました。また、悪いと回答した方の割合（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）は1.9ポイントの減少となり、全体的にみると「良くも悪くもない」が9.6ポイントの増加となっています。

選択肢 (前回策定時)	今回 (令和元年(2019年))	前回 (平成14年(2002年))	増減	
非常に良い(よい)	9.1%	12.3%	-3.2ポイント	-6.9ポイント
やや良い(まあまあよい)	27.7%	31.4%	-3.7ポイント	
良くも悪くもない(どちらともいえない)	39.1%	29.5%	+9.6ポイント	
やや悪い(やや悪い)	16.7%	17.2%	-0.5ポイント	-1.9ポイント
非常に悪い(悪い)	3.9%	5.3%	-1.4ポイント	

※カッコ内は前回アンケートの選択肢です



3-2 計画目標の達成状況

前計画で設定した数値目標の達成状況について評価を行いました。

(1) 緑地確保の目標

① 市街化区域における緑地確保の目標

前計画における目標値は 195.00ha ですが、平成 30 年度（2018年度）末時点の市街化区域の緑地面積は 155.23ha であり、達成率は 79.6%となっています。

現況（平成30年度（2018年度）末時点）	目標（令和2年（2020年））	達成状況
155.23 ha	195.00 ha	79.6%

0% 100%

② 都市計画区域における緑地確保の目標

前計画における目標値は 456.00ha ですが、平成 30 年度（2018年度）末時点の都市計画区域の緑地面積は 314.58ha であり、達成率は 69.0%となっています。

現況（平成30年度（2018年度）末時点）	目標（令和2年（2020年））	達成状況
314.58 ha	456.00 ha	69.0%

0% 100%

③ 都市計画区域における市内の雑木林（山林）の確保目標

前計画における目標値は 100.00ha ですが、平成 30 年度（2018年度）末時点の山林面積は 85.73ha であり、達成率は 85.7%となっています。

現況（平成30年度（2018年度）末時点）	目標（令和2年（2020年））	達成状況
85.73 ha	100.00 ha	85.7%

0% 100%

(2) 都市公園等の施設として整備すべき緑地の目標

① 都市公園の一人当たりの面積

前計画における目標値は 2.00 m²/人でしたが、平成 30 年度（2018年度）末時点の都市公園の一人当たりの面積は 1.62 m²/人であり、達成率は 81.0%となっています。

現況（平成30年度（2018年度）末時点）	目標（令和2年（2020年））	達成状況
1.62 m ² /人	2.00 m ² /人	81.1%

0% 100%

② 都市公園等の一人当たりの面積

都市公園等（都市公園と公共施設緑地の合計）の一人当たりの面積は、4.20 m²/人であり、達成率は 42.0%となっています。

なお、都市公園等の一人当たりの面積の達成率が著しく低いのは、今般改正では公立学校のグラウンド面積のみ計上しているためです。

現況（平成30年度（2018年度）末時点）	目標（令和2年（2020年））	達成状況
4.20 m ² /人	10.00 m ² /人	42.0%

0% 100%

3-3 みどりの課題

(1) 施策から見た課題

① みどりの保全に関する課題

- ◇「緑地等の面的保全」として、自然的土地利用である山林、原野、農地の保全
- ◇「緑地等の維持管理」の徹底

本市では、平成16年(2004年)2月に栄一丁目地区にある約3.28haの斜面林を都市緑地法に基づく「妙音沢特別緑地保全地区」に指定して緑地等の保全に努めていますが、緑地等の保全状況は、前回策定時(平成13年度(2001年度))は17.22%の緑地率であったところ、平成30年度(2018年度)には13.79%へ減少しています。

また、本市を代表するみどりである雑木林の面積も、相続に伴う売却などにより、平成15年(2003年)の116.66haから85.73haに減少しています。

市民意向調査でも、「武蔵野の面影を残す雑木林などの自然が多いまち」を望む割合が49.0%となっており、雑木林の保全が課題となっています。また、市街化が進む中で、雑木林のすぐ近くに住宅が立ち並ぶようになり、飛来する落ち葉の問題や手入れ不足などが問題となっています。

② みどり等の創出・整備に関する課題

- ◇「公園等の面的整備」の更なる整備
- ◇「公園等の質的向上」が求められており、遊具の整備などによる魅力ある公園づくり
- ◇「公園等の維持管理」の徹底

本市の都市公園は、平成30年度(2018年度)では前回策定時と比べて7.23ha増加しており、市民一人当たりの面積も、1.33㎡/人から1.62㎡/人へ増加しています。しかしながら、県の平均は6.96㎡/人であり、市の施策として都市公園の整備が着実に行われてはいるものの、まだ不十分であるといえます。

市民意向調査でも、「数は十分だが大きな公園が少ない」や「遊具のある公園が少ない」などの規模や施設面での御意見や「犬のフンが放置されている」などの管理面での御意見があります。

(2) 緑化活動に関する課題

◇緑地の維持管理をする団体の育成・支援及び更なる推進

本市では、市内の雑木林等の管理を行い、従来の行政の枠を超えた雑木林管理組織体制の確立を目指して、平成14年（2002年）1月に「新座市グリーンサポーター」を設立し、多くの市民の方々に御協力を頂き、平成30年度（2018年度）までに665回開催し、延べ11,064名（設立前の11回、230名を含む）の方々に参加いただきました。

市民意向調査では、「今後、みどりの保全や緑化の推進に関して重要だと思う施策」について、「緑地の維持管理をしていただく団体の育成・支援」が14.9%と2位であり、更なる推進が求められています。

(3) みどりの役割から見た課題

みどりが都市において果たす役割を踏まえ、市内のみどりの現況を環境保全、レクリエーション、防災、景観構成の各システムの視点から見た課題を整理します。

